

令和5年度 愛媛県立野村高等学校 第2学期終業式式辞

皆さん、おはようございます。今年もあと10日ほどになりました。この1年は、皆さんにとってどんな年だったでしょうか。以前、NHKの「チョコちゃんに叱られる!」という番組で、「大人になるとあっという間に1年が過ぎるのは、大人は人生にトキメクことがなくなったから」という話を聞きました。人間はトキメキを感じる機会が多いほど、時間を長いと感じるようです。私の目の前にいる青春真っ只中の皆さんは、毎日ワクワクしたりトキメいたりしながら過ごしているはずですので、この1年はとても長いものだったかも知れません。一方、皆さんより40歳くらい年上のトキメキの少ない校長の私にとって、この1年はあっという間だったかということ、実はそうではなくて、トキメクことの多い長い1年だったと感じています。それは紛れもなく生徒の皆さんの素晴らしい活躍のお陰なのです。

まず体育祭の応援合戦では、応援団長を中心とした一糸乱れぬ団結力に感動し、その力強さに圧倒されました。FFJでは、畜産科としての誇りと伝統を継承しようという強い思いを感じ、涙が出そうになりました。また、人権に関する意見発表は、堂々とした話しぶりで、聴き手の心の奥底にまで届く立派な内容だったと思います。そして高校祭。伸びやかな歌声が体育館に響いた合唱コンクール、箏曲や吹奏楽の見事な演奏とダンシングヒーローたちの活躍、教室等での魅力的な展示など野村高校の楽しさと誠実さの詰まった熱い1日となりました。こうして振り返ってみると、皆さんがさまざまな学校行事を通して確実に成長してくれていることを実感します。

さて、今年の新語・流行語大賞の年間大賞は「アレ (A.R.E.)」でした。プロ野球日本シリーズで38年ぶりの優勝を成し遂げた阪神タイガースの選手たちやファンの間で優勝を表す言葉として使われていた「アレ」に、私は以前からとても興味を抱いていました。なぜなら「優勝」という言葉を避けて「アレ」と言う言葉を使っていたという事実に、今更ながら「言霊」の持つ人間への影響力の強さを感じたからです。ちょっと、「言霊」の話をしましょう。「言霊」とは言葉の持つ力であり、私たちの心身に大きな影響を与えているといわれています。例えば、ある言葉が自分に良くないことをもたらすと感じると、人はその言葉を使うことを避けるようになります。阪神タイガースの場合には、「優勝」という言葉を使うと選手にプレッシャーを与えてしまうということから、「アレ」という言葉を使っていたと聞きました。同じように皆さんの良く知っている「ハリーポッター」では、ハリーの宿敵である史上最強最悪の魔法使いヴォルデモート卿の名前を呼ぶと自分の命が危ないため、他の魔法使いたちはヴォルデモートのことを直接名前で呼ばず「例のあの人」と呼んでいましたよね。

今挙げたのは、言霊の悪い影響を避ける話でしたが、言霊は多くの場合、良い意味で私たちの行動や未来に大きな影響を与えることが、脳生理学でも証明されています。「プライミング効果」というのですが、チャレンジしたいことや成功したいことがある場合、「きっと〇〇できる」「〇〇に合格する」というポジティブな言葉を何度も口に出して言うことで、それが脳に記憶として残り、その人が望んでいる未来へと進む手助けをしてくれることがわかっています。

さあ、新しい年がやってきます。皆さんのかなえたい夢は何ですか？勉強のことでも部活動のことでも構いません。頭の中に描いている夢を口に出して唱え、その夢を叶えるために努力続けてください。夢は叶えるためにあるのです。

冬休みが終わると、ラストスパートの3学期です。始業式の日、皆さんの笑顔と元気に出会えることを楽しみに、私もトキメク年末を過ごしたいと思います。それでは、メリークリスマス、そして良いお年を。